



SAP Ariba 


機能の概要

サプライヤ組織マッピング情報に関連するサプライヤ所在地をカタログ登録に保持するためのサポート

Jaideep Tungare, SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

実装の難易度  ロータッチ/容易
関連する地域  グローバル

新機能: サプライヤ組織マッピング情報に関連するサプライヤ所在地をカタログ登録に保持するためのサポート

お客様の課題

現在、SAP Ariba Procurement ソリューションでは、サプライヤとサプライヤ組織に関連するサプライヤ所在地アカウントからインポートされたカタログについては、サプライヤ組織のネットワーク ID (AN ID) を使用して登録が検証されます。サプライヤ所在地の AN ID は考慮されないため、ユーザーがパンチアウトしようとする、サプライヤ所在地ではなくサプライヤ組織のパンチアウトサイトに誘導されます。その結果、誤ったパンチアウトストアで購入することになります。

ソリューション領域

SAP Ariba Catalog
SAP Ariba Buying
SAP Ariba Buying and Invoicing

SAP Ariba でこの課題に対応

この機能により、カタログをインポートすると、サプライヤ組織マッピング情報に関連するサプライヤ所在地が SAP Ariba Procurement ソリューションに保持されます。これによって、さまざまなサプライヤの下位組織アカウントに由来するすべてのカタログが、マッピングされたサプライヤ組織の下で関連付けられます。

その結果、パンチアウト品目を購入しようとしているユーザーが適切なパンチアウトサイトに誘導されます。

実装に関する情報

この機能は、通常の設定で「オン」になっています。

実現される主なメリット

バイヤーアプリケーションで、サプライヤのすべての下位組織または所在地のカタログが 1 つのサプライヤ組織の下に表示されます。

パンチアウトカタログを使用している購買ユーザーは、購買の際に、適切なサプライヤ所在地のパンチアウトサイトに誘導されます。

前提条件および制限事項

この機能は、サプライヤデータのリアルタイム同期のために SAP Ariba Procurement ソリューションが SAP Ariba Supplier Management ソリューションと統合されているパッケージ統合サイトに適用されます。

SAP Ariba Supplier Management ソリューションと SAP Ariba Procurement ソリューションの統合が完了していることを確認します。

この機能は、ローカルでインポートされたカタログではなく、Ariba Network から取得されたカタログにのみ適用されます。